

令和5年度
第2回さいたま市教科用図書選定委員会
会議録

令和5年7月10日開催

さいたま市教育委員会

会 議 録

- 1 会議名 第2回さいたま市教科用図書選定委員会
- 2 開催日時 令和5年7月10日(月) 10時00分開会
- 3 開催場所 さいたま市立教育研究所 第2研修室
- 4 出席者名
委員長 さいたま市教育委員会学校教育部次長 田中 一秀
委員 校長の代表(小学校) 浅野 博一
校長の代表(中学校) 安藤 幸子
保護者の代表(2名)
さいたま市教育研究会代表 海江田 なぎさ

事務局 さいたま市教育委員会学校教育部指導1課 課長 藤田 昌一
さいたま市教育委員会学校教育部指導1課 副参事 大森 恵美子
さいたま市教育委員会学校教育部指導1課 課長補佐 酒井 東悟
さいたま市教育委員会学校教育部指導1課 主席指導主事兼係長
古川 明子
さいたま市教育委員会学校教育部指導1課 主席指導主事兼係長
宍戸 貴久
さいたま市教育委員会学校教育部指導1課 主席指導主事兼係長
下舘 文雄
さいたま市教育委員会学校教育部指導1課 主席指導主事兼係長
風間 泰宏
さいたま市教育委員会学校教育部指導1課 主任指導主事 大澤 諭
さいたま市教育委員会学校教育部指導1課 指導主事 山岸 啓介
- 5 欠席者 なし
- 6 議題及び公開・非公開の別
「令和6年度使用小学校用教科用図書についての意見聴取」 非公開
- 7 非公開の理由
さいたま市情報公開条例第7条第4号に該当するため
- 8 傍聴人の数 なし
- 9 会議内容
(1) 事務局より、教科用図書選定委員長の退任及び新たな委員の任命について説明があった。

(2) さいたま市教科用図書選定委員会要綱第4条に基づき、委員長及び副委員長が選出され、委員長を、さいたま市教育委員会学校教育部次長 田中 一秀委員に決定した。

- (3) 事務局より、教科用図書採択のこれまでの経過について、説明があった。
- ①教科用図書調査専門委員会において、教科用図書の調査研究が行われた。
 - ②市立各小学校において、教科用図書の調査研究が行われた。
 - ③本日は、教科用図書調査専門委員会の調査研究結果及び各学校の調査研究結果についての情報提供を参考として、教科用図書についての意見を聴取する。
- (4) 事務局より、本日の資料について説明があった。

10 教科用図書についての意見

(1) 国語

教育出版、光村図書出版について意見が多く出された。教育出版については、さいたま市の題材が扱われていること、他教科につながる内容が書かれていることから児童が学習に取り組みやすいといった意見が挙げられた。光村図書出版については、教材文の選び方がよく外の世界とのつながりまで考えられている、学習の見通しをもつことができるように工夫されているという意見が挙げられた。東京書籍については、吹き出し等、発達段階に合わせた工夫があり、学習に取り組みやすいという意見が挙げられた。

(2) 書写

教育出版、光村図書出版について意見が多く出された。教育出版については、色の濃淡が表現された筆遣いが見やすい、身に付けた資質・能力を実生活に生かすという内容が魅力的であるといった意見が挙げられた。光村図書出版については、身に付けたことをどのように生かすのか触れられていること、学習の進め方が分かりやすく明記されていることがよい点として挙げられた。東京書籍については、左利きの写真が右利きと同様に大きく掲載され、多様性への配慮が特徴的であるという意見が挙げられた。

(3) 社会

東京書籍、教育出版について意見が多く出された。東京書籍については、さいたま市の事例が扱われていること、グラフ等の資料が見やすいこと等の意見が挙げられた。教育出版については、さいたま市の事例が扱われていること、白黒の写真を AI によって着色したものがあるなど、子どもたちにとってインパクトがある資料が多いこと等がよい点として挙げられた。日本文教出版については、SDGs についての取組が随所に取り上げられており、さいたま市の施策と関連が深いという意見が挙げられた。

(4) 地図

帝国書院について意見が多く出された。帝国書院については、統計資料等の資料が豊富で内容も見やすい、地図記号について絵も補足されていて分かりやすい等の意見が挙げられた。東京書籍については、色味が抑えられた資料が見やすい、資料の解説が詳細まで記載されていて分かりやすいという意見が挙げられた。

(5) 算数

東京書籍について意見が多く出された。東京書籍については、小学校入学期に配慮されたつくりがよい、児童の思考に寄り添った学習の流れになっていて分かりやすい等の意見が挙げられた。大日本図書については、多様性に配慮されたキャラクターが取り上げられていること、学校図書については、AB 版の幅を生かして「図の活用」などの内容が多く取り上げられていること、教育出版については、「よくある間違い」について取り上げており、理解に時間を要する児童に配慮された扱いが充実して

いること、新興出版社啓林館については、中学校への接続やキャリア教育につながる内容が詳しく扱われていること、日本文教出版については、「自分で」「みんなで」といった学習の流れが、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた配慮となっていることが、それぞれよい点として挙げられた。

(6) 理科

東京書籍、教育出版、新興出版社啓林館について意見が多く出された。東京書籍については、問題解決につながる内容が丁寧な扱われていること、観察実験における方法について配慮がなされていること、資料が鮮やかで見やすいこと等がよい点として挙げられた。教育出版については、実物の大きさが分かるインパクトがある資料があって分かりやすい、理科についての知識や思考を深める「科学のまど」の内容が充実していてよいといった意見が挙げられた。新興出版社啓林館については、児童が自分で問題を設定しやすくする工夫や、学んだことを実社会で生かすことにつながる工夫がよい、実験方法について説明が分かりやすい等の意見が挙げられた。大日本図書については、「予想」「調べる」「考察」の理科のプロセスが見やすく構成されていること、学校図書については、知識を単元の中だけで完結させることなく、次の根拠として生かす工夫が見られること、信州教育出版社については、実生活との関連から理解を深める工夫が見られる内容があることが、それぞれよい点として挙げられた。

(7) 生活

東京書籍について意見が多く出された。東京書籍については、「町たんけん」についての内容が充実していてよい、写真やイラストが多様であることから目で見て理解しやすい、季節に合わせた工夫した構成が見られ季節ごとの喜びを感じることができてよい等の意見が挙げられた。大日本図書については、「きもちマーク」等があることで、文字で表現することに難しさを感じる児童が自分の気持ちを表現する助けになること、学校図書については、動植物の写真やスケッチが鮮明で分かりやすいこと、教育出版及び新興出版社啓林館については、動植物の写真の下に名称が書かれており、図鑑のような活用ができること、光村図書出版については、単元ごとに振り返りの活動がはっきりと示されていることが、それぞれよい点として挙げられた。信州教育出版社については、意見が無かった。

(8) 音楽

教育出版について意見が多く出された。教育出版については、児童が主体的に学ぶための工夫として、「音楽のもと」の横にメモ欄が設けられていること、情景を思い浮かべながら歌唱や合奏ができるように写真等、構成が工夫されていること、音を通して喜びを感じられるようにするといった、情操教育につながる観点を取り入れられていることがよい点として挙げられた。教育芸術社については、音楽の構造や楽曲の背景を理解しながら学んでいくという観点での構成がよいという意見が挙げられた。

(9) 図画工作

開隆堂出版について意見が多く出された。開隆堂出版については、キャラクターのイラストとともに学習のめあてが分かりやすく示されていること、図画工作で培った資質・能力が社会に出た時にどのように役立っているか、分かりやすく示された資料があること、QRコードによる題材に関する資料が充実していることがよい点として挙げられた。日本文教出版については、学習内容が見開きページで見やすく構成されていてよい、写真が色鮮やかで見やすいという意見が挙げられた。

(10) 家庭

開隆堂出版について意見が多く出された。開隆堂については、「できることを増やしていこう」「工夫して生活に生かそう」のように、学習がステップアップしていく構成が分かりやすいこと、裏表紙

に野菜の切り方等、活用しやすい資料があること、日本の食文化についての記載が充実していること等がよい点として挙げられた。東京書籍については、学習の流れが「ステップ1，ステップ2，ステップ3」といったように、分かりやすく示されていてよいという意見が挙げられた。

(11) 保健

東京書籍、大修館書店、Gakken について意見が多く出された。東京書籍については、ASUKA モデルに関して、桐田明日香さんの母、寿子氏の言葉が取り上げられていること、1時間の学習が4つのステップで構成されていて分かりやすいこと等がよい点として挙げられた。大修館書店については、現代的な課題に関する内容が多く取り上げられていてよい、ASUKA モデルが扱われていてよいといった意見が挙げられた。Gakken については、児童が考えを書きこむことができる内容が充実していてよい、ASUKA モデルについて取り上げられていてよいといった意見が挙げられた。大日本図書については、1時間の学習が見開きページで完結する内容で見やすいこと、文教社については、資料の数が多く学習に広く活用できること、光文書院については、ASUKA モデルについて取り上げられていることが、それぞれよい点として挙げられた。

(12) 英語

東京書籍、新興出版社啓林館について意見が多く出された。東京書籍については、外国だけでなく、日本に関する内容についても多く触れられていること、学習者用デジタル教科書で、登場人物と模擬会話ができることがよい点として挙げられた。新興出版社啓林館については、ワードリストやピクチャーカード等の巻末資料が、授業で活用しやすいように工夫されていること、学習の見通しをもつことができる構成になっていること等がよい点として挙げられた。開隆堂出版については、学習のまとめとして設定されている「Let's Check」が、学習の定着度を子ども自身が判断できること、三省堂については、単元はじめのパノラマページで、学習の見通しをもちやすくする工夫や学習内容に興味をもたせる工夫がされていること、教育出版については、各レッスンにおける動画や音声を用いたアクティビティが充実していること、光村図書出版については、「Hop!」「Step 1」「Step 2」「Jump!」の学習過程がメリハリのある構成になっていることが、それぞれよい点として挙げられた。

(13) 道徳

教育出版、日本文教出版について意見が多く出された。教育出版については、「考えよう」「深めよう」「つなげよう」といった学習の流れが、児童が考えを深められる手立てとなっていること、3年以上の巻末にSDGsと関連のある教材について分かりやすく示されていること等がよい点として挙げられた。日本文教出版については、道徳ノートがあること、読み物教材だけでなく、コラム「心のベンチ」があることで、より広く深く考えられるように工夫されていること等がよい点として挙げられた。東京書籍については、QRコードが豊富に掲載されており、ICTの活用が意識されていること、光村図書出版については、話合いに重点が置かれた構成になっていること、光文書院については、全ての学年でSDGsに関連した見開きページがあること、Gakken については、写真が多く、親近感がわく構成になっていることが、それぞれよい点として挙げられた。